

令和2年11月19日

経済産業省 製造産業局 自動車課

ITS・自動走行推進室

自動走行ビジネス検討会／第2回安全性評価戦略WG

議事要旨

■ 日時： 令和2年11月19日（木）10：00－12：00

■ 場所： 経済産業省 本館7階 第13会議室・web開催併用

■ 出席者：

（敬称略・五十音順）

<参加者>

横山 利夫	（一社）日本自動車工業会 自動運転部会 部会長
加藤 昌彦	（一社）日本自動車工業会 自動運転部会 副部会長
江川 健一	（一社）日本自動車工業会 自動運転部会 副部会長
谷口 悟史	（一社）日本自動車工業会 自動運転部会 AD 安全性評価分科会 分科会長
小沢 浩一郎	（一社）日本自動車工業会 自動運転部会 AD 安全性評価分科会 副分科会長
北原 栄一	（一社）日本自動車工業会 自動運転部会 AD 安全性評価分科会 副分科会長
河合 英直	（独）自動車技術総合機構 交通安全環境研究所 自動車安全研究部 部長
毛利 宏	東京農工大学大学院 工学府 機械システム工学専攻 教授
菅沼 賢治	（株）デンソー 技術開発推進部 国際標準推進室 東京技術渉外課 シニアアドバイザー
真野 宏之	日立オートモティブシステムズ（株）技術開発本部 主管技師長
南方 真人	国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 SIP 自動運転 SPL

<事務局>

経済産業省、国土交通省、（一財）日本自動車研究所

■ 議事次第

1. 開会
2. 自工会における安全性評価の取り組み状況
3. SAKURA プロジェクトの進捗報告
4. 高速道における活動計画イメージ
5. 閉会

■ 議事概要

1. 開会
 - 経済産業省及び国土交通省から、開会の挨拶が行われた。
2. 自工会における安全性評価の取り組み状況
 - 自工会から、安全性評価に係る基準・標準の取り組み状況が報告された。
3. SAKURA の進捗報告
 - 日本自動車研究所（JARI）から、SAKURA プロジェクトにおける安全性評価事業の進捗状況が報告された。
 - 交通外乱テストシナリオの導出・管理データベースの構築、交通外乱シナリオの作成(高速道×本線)(高速道におけるデータ収集見込み)、シナリオの生成・管理ツール、シナリオ透明性・説明性の確保の検討、継続的な AD 社会実装に向けたデータ管理（独・フラウンホーファー研究機構との Workshop）、交通外乱に認識・車両外乱が加わる場合の評価手法の検討（認識外乱(周辺車両の死角)が加わった場合の検討）、一般道の交通外乱シナリオに関する検討状況などについて報告があり、意見交換が行われた。
4. 高速道における活動計画イメージ
 - JARI から、高速道の安全性評価に関する活動計画(案)が報告された。
 - 高速道の安全性評価に関して、2018～2020 年度の実施内容および 2021 年度以降の活動計画(案)の整理、高速道シナリオデータベースの拡張イメージの整理などについて報告があり、意見交換が行われた。
5. 閉会

■ お問い合わせ先

製造産業局 自動車課 ITS・自動走行推進室

電話：03-3501-1618

MAIL：itshann@meti.go.jp

以上